

禁煙サポート外来の 保険適用による変化

- 蕨野 真由美 寺山 鈴子 浜田 恵亮
（宮崎県健康づくり協会）
藤崎 淳一郎（現日向保健所）

はじめに

平成13年12月から平成18年5月まで

受診者

130人

自由診療

はじめに

- ・ 平成18年4月から**禁煙治療**が
公的医療保険の対象となる
- ・ 平成18年6月から**ニコチンパッチ**が
公的医療保険の対象となる

↓ その後

自由診療 + **保険診療**

保険適用の条件

- 1 直ちに禁煙しようとしている
- 2 ニコチン依存症のスクリーニングテストが5点以上
- 3 ブリンクマン指数(1日喫煙本数×喫煙年数)が200以上
- 4 禁煙治療を受けることを文書により同意している



禁煙に要する費用は個人負担の軽減



禁煙を開始しやすくなる

目的

今回、保険診療になったことにより

- (1) 保険適用前後での受診者の変化
- (2) 全国の保険診療を受診した者との違い



明らかにすること

対象

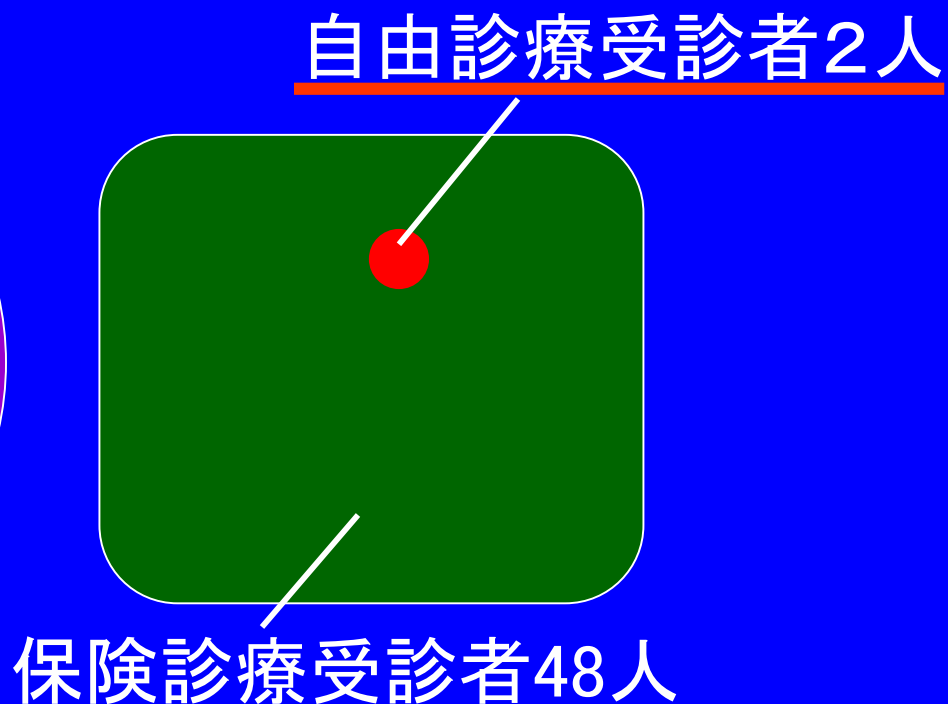
保険適用前

H13年12月～H18年5月



保険適用後

H18年6月～H19年3月



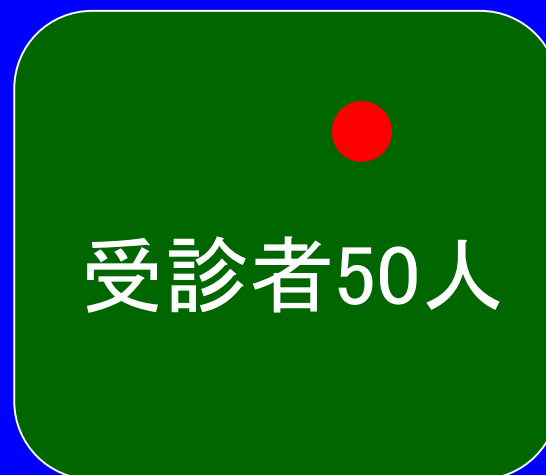
方法

(1) 保険適用前後の比較

基本属性、喫煙の状況、ニコチンパッチ処方状況
禁煙成功率等



保険適用前



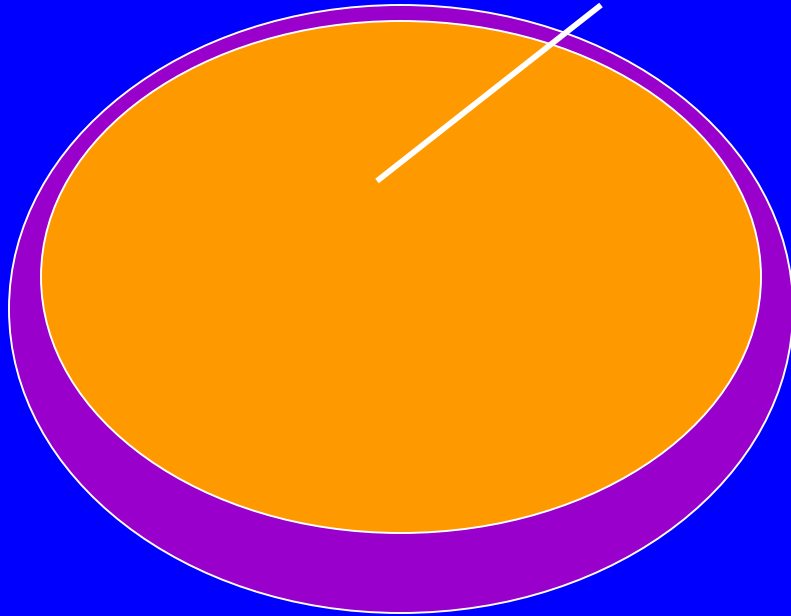
保険適用後

方法

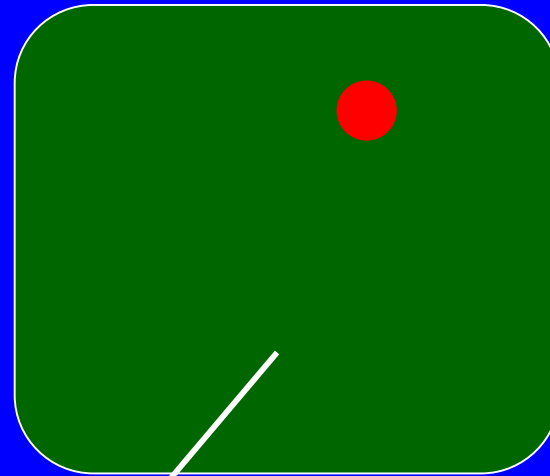
(1) 保険適用前後の比較

問診の回答

成人のみ107人



保険適用前



保険診療受診者48人

保険適用後

方法

外来を終了した時点、電話にて確認した時点

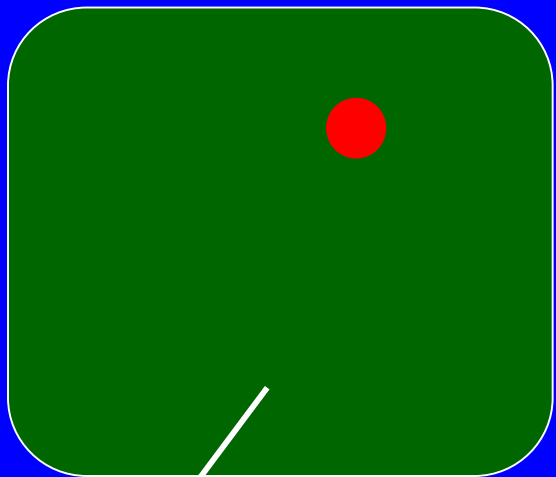
禁煙できていた者 → 成功者

禁煙できていなかった者 → 失敗者

連絡のとれなかった者 → 不明者

方法

(2) 全国との比較



保険診療受診者48人

全国の調査対象とされた
保険診療受診者3808人

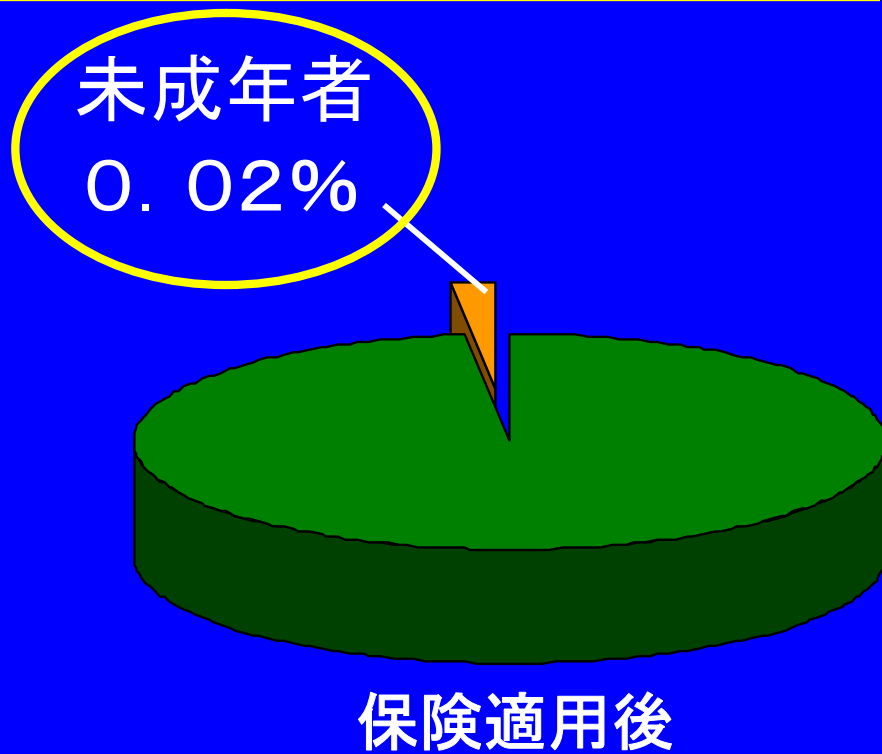
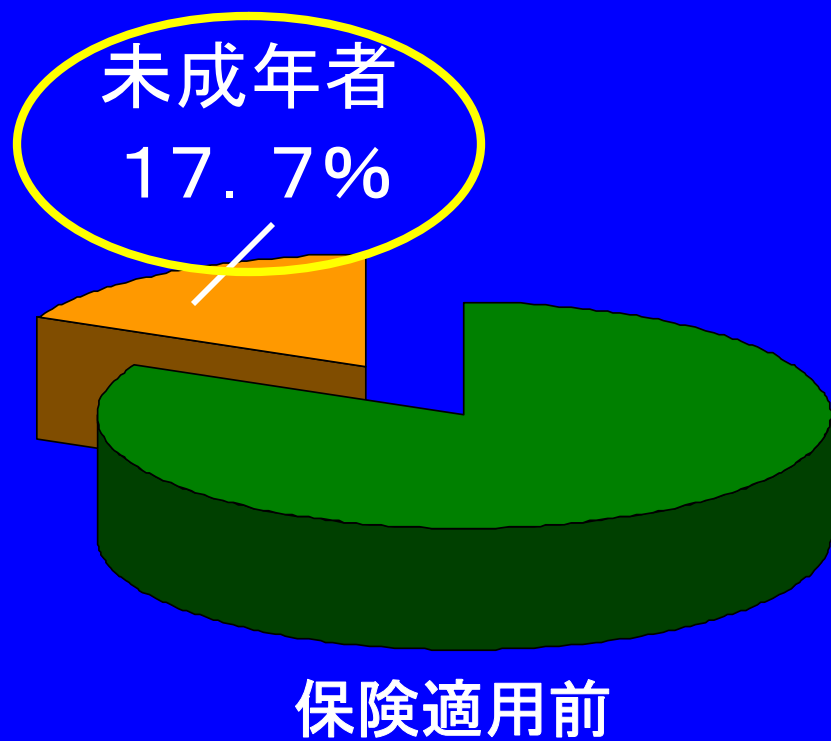
厚生労働省「ニコチン依存症管理料算定保険
医療機関における禁煙成功率の実態調査」

保険適用前後の検定結果

変数	カテゴリー	保険適用以前 (n = 130)	保険適用後 (n = 50)	P値
性別	女性、人(%)	25 (19.2)	15 (30.0)	0.120
年齢	平均±SD、歳	40.5 ± 16.1	46.1 ± 12.3	0.028
	未成年者、人(%)	23 (17.7)	1 (0.02)	< 0.01
喫煙年数	平均±SD、年	19.3 ± 13.7	25.4 ± 11.5	< 0.01
喫煙本数/日	15本以下の人(%)	33 (25.4)	3 (6.0)	< 0.01
	16~25本の人(%)	53 (40.8)	26 (52.0)	0.174
	26本以上の人(%)	44 (33.8)	21 (42.0)	0.308
ニコチンパッチ処方枚数総数	平均±SD、枚	22.9 ± 15.6	47.5 ± 18.1	< 0.01
ニコチンパッチTTS30処方枚数	平均±SD、枚	13.5 ± 11.2	23.3 ± 7.1	< 0.01
ニコチンパッチTTS20処方枚数	平均±SD、枚	8.0 ± 10.3	19.3 ± 9.6	< 0.01
ニコチンパッチTTS10処方枚数	平均±SD、枚	3.9 ± 6.5	16.0 ± 6.0	< 0.01
来所回数	平均±SD、回	2.0 ± 1.3	3.8 ± 1.5	< 0.01
禁煙歴	ありの人(%)	87 (66.9)	41 (82.0)	0.046
成功率	成功者の人(%)	77 (59.2)	32 (64.0)	0.558
	失敗者の人(%)	28 (21.5)	9 (18.0)	0.599
	不明者の人(%)	25 (19.2)	9 (18.0)	0.850
禁煙動機		成人のみ (n = 107)	保険適用者のみ (n = 48)	
たばこ代がかかる	人(%)	15 (14.0)	13 (27.1)	0.051

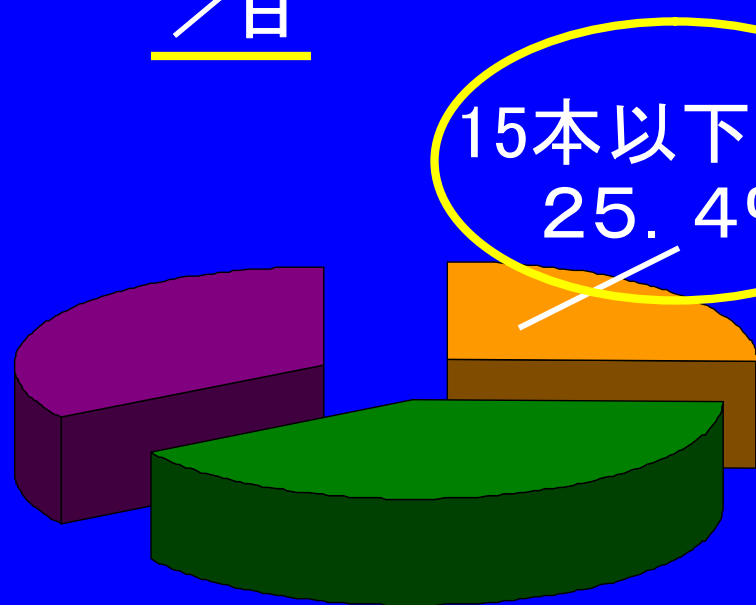
結果

変数	カテゴリー	保険適用前 (N=130)	保険適用後 (N=50)	P値
<u>年齢</u>	平均±SD、歳	<u>40.5±16.1</u>	<u>46.1±12.3</u>	<u>0.028</u>
	<u>未成年者、人(%)</u>	<u>23 (17.7)</u>	<u>1 (0.02)</u>	<u>< 0.01</u>

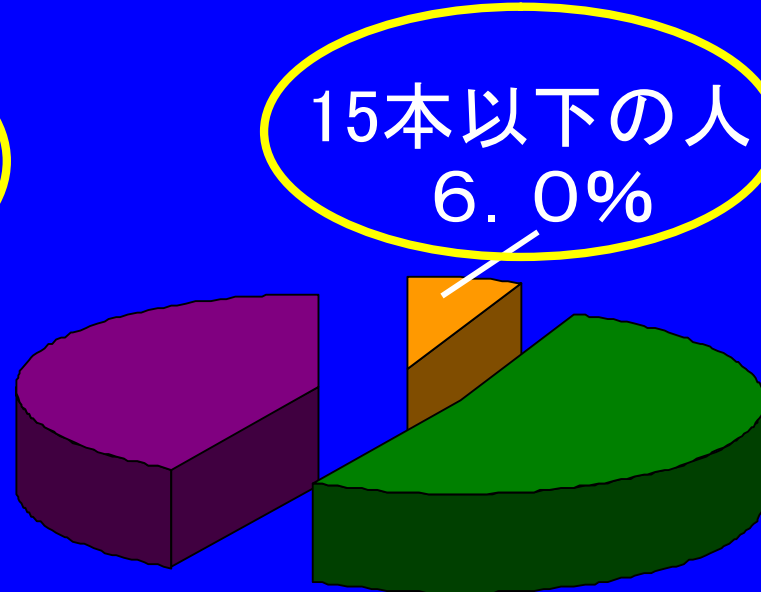


結果

変数	カテゴリー	保険適用前 (N=130)	保険適用後 (N=50)	P値
<u>喫煙年数</u>	平均±SD、年	<u>19.3±13.7</u>	<u>25.4±11.5</u>	<u>< 0.01</u>
<u>喫煙本数 /日</u>	<u>15本以下の人(%)</u>	<u>33 (25.4)</u>	<u>3 (6.0)</u>	<u>< 0.01</u>



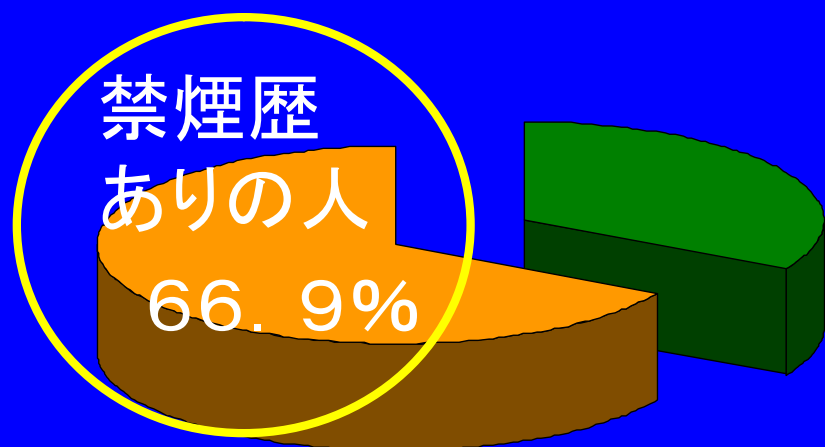
保険適用前



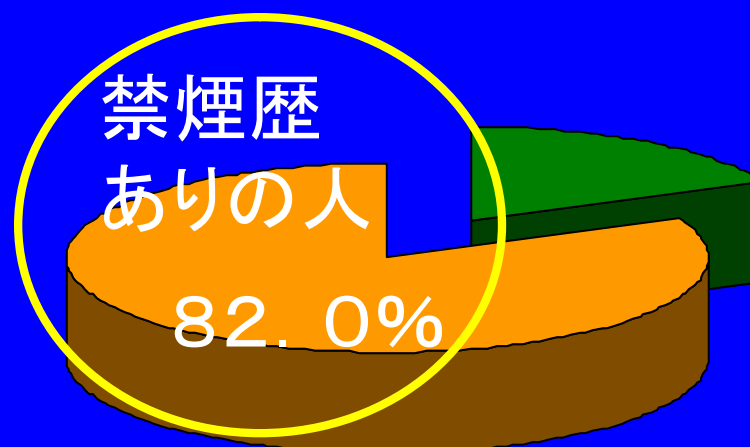
保険適用後

結果

変数	カテゴリー	保険適用前 (N=130)	保険適用後 (N=50)	P値
<u>ニコチンパッチ</u> <u>処方枚数</u>	平均±SD、枚	<u>22.9±15.6</u>	<u>47.5±18.1</u>	<u>< 0.01</u>
<u>来所回数</u>	平均±SD、回	<u>2.0±1.3</u>	<u>3.8±1.5</u>	<u>< 0.01</u>
<u>禁煙歴</u>	<u>ありの人(%)</u>	<u>87 (66.9)</u>	<u>41 (82.0)</u>	<u>< 0.01</u>



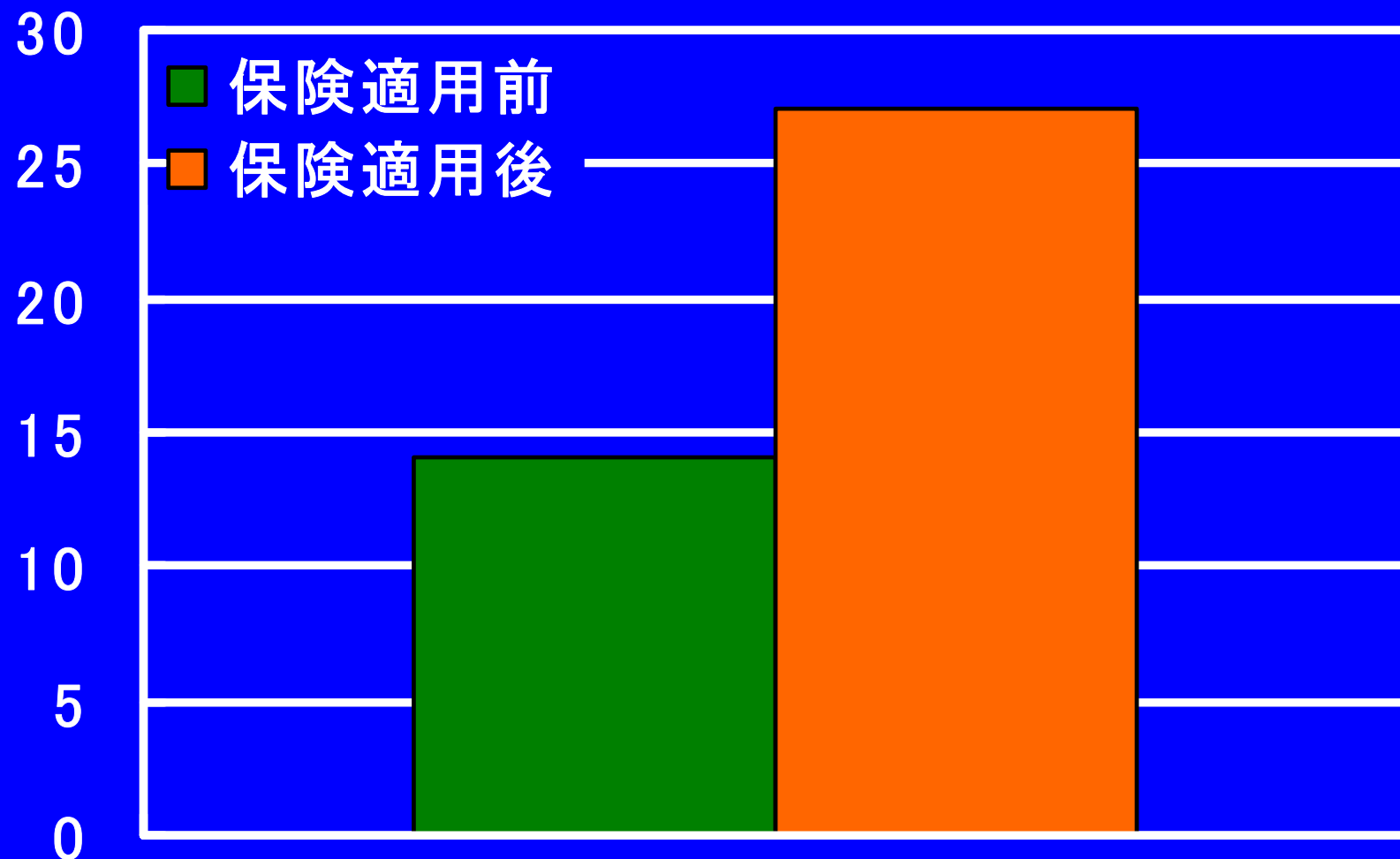
保険適用前



保険適用後

禁煙の動機

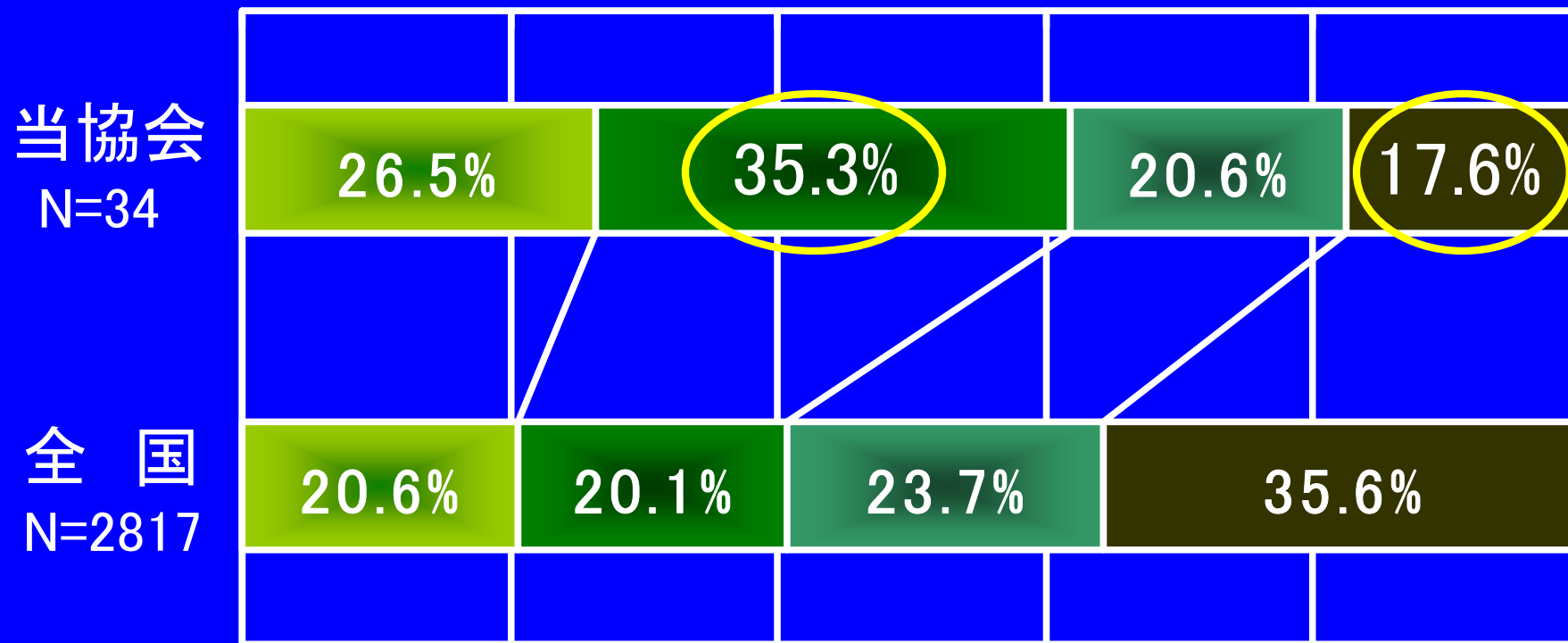
(%)



たばこ代がかかる

受診者（男性） 全国との比較

0% 20% 40% 60% 80% 100%

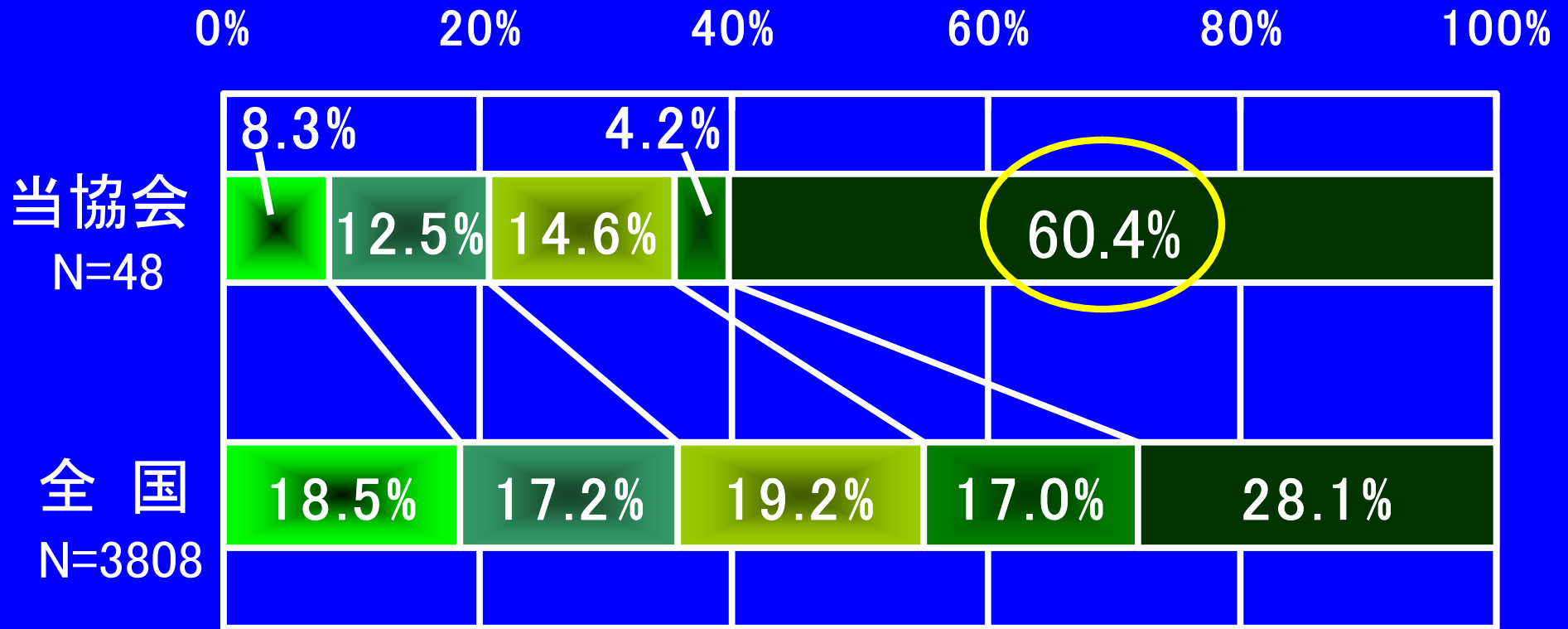


■ 40歳未満 ■ 40~50歳未満 ■ 50~60歳未満 ■ 60歳以上

ニコチン依存症治療算定回数状況

(何回保険診療を受診したのか)

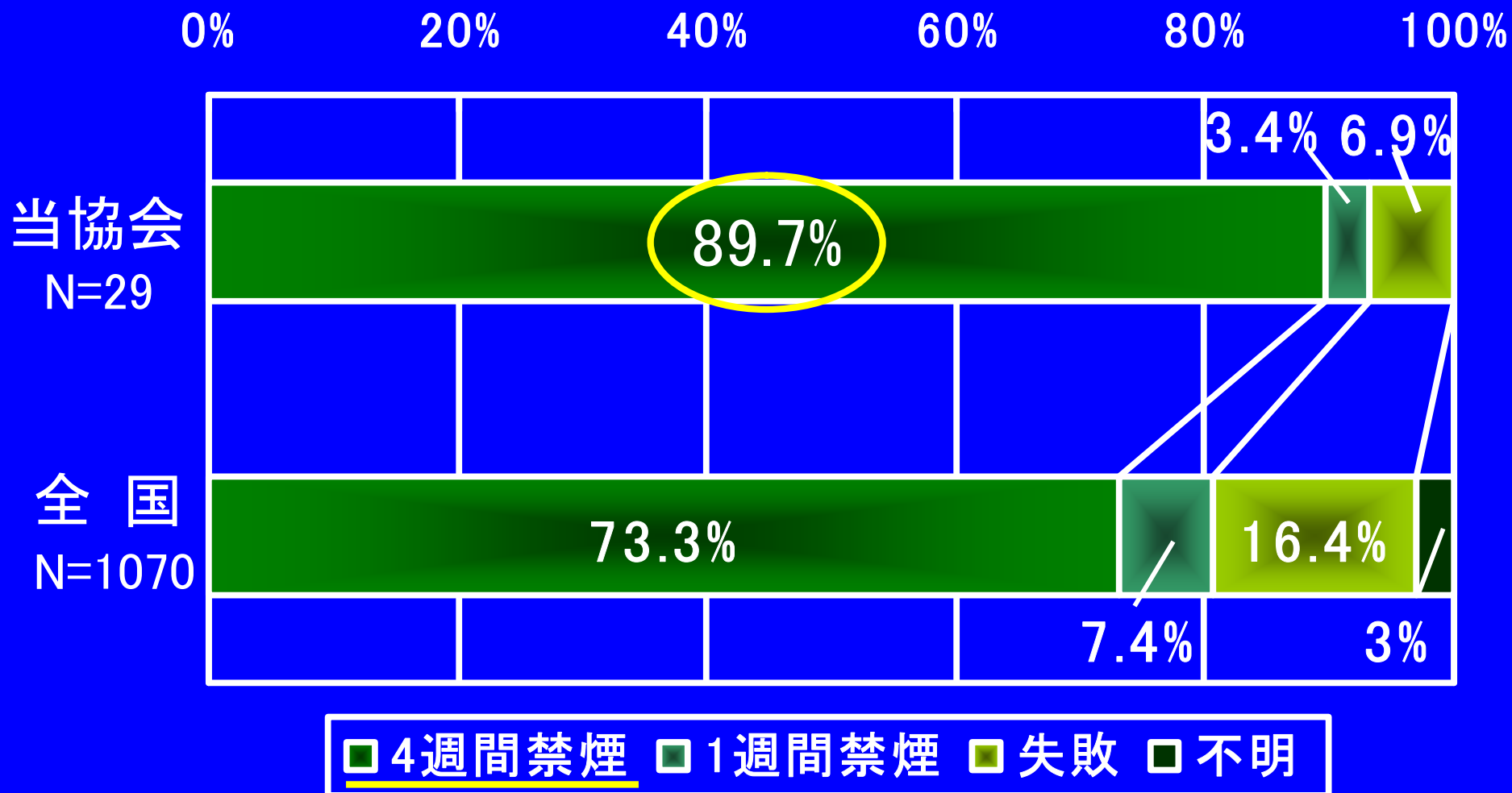
全国との比較



- 1回目で中止
- 2回目で中止
- 3回目で中止
- 4回目で中止
- 5回終了

ニコチン依存症治療を5回実施した人の指導終了時の状況 (5回終了まで受診した人の中での禁煙成功率)

全国との比較



考察

「年齢」が高かったことについて

保険適用の条件の1つ

$$\text{ブリンクマン指数} \geq 200$$

$$= \text{喫煙本数} \times \text{喫煙年数}$$

喫煙年数少ない未成年者は保険適用されにくい

未成年者の受診が減ったことの影響

年齢が高くなった

未成年者の受診が減ったことについて

養護
教諭

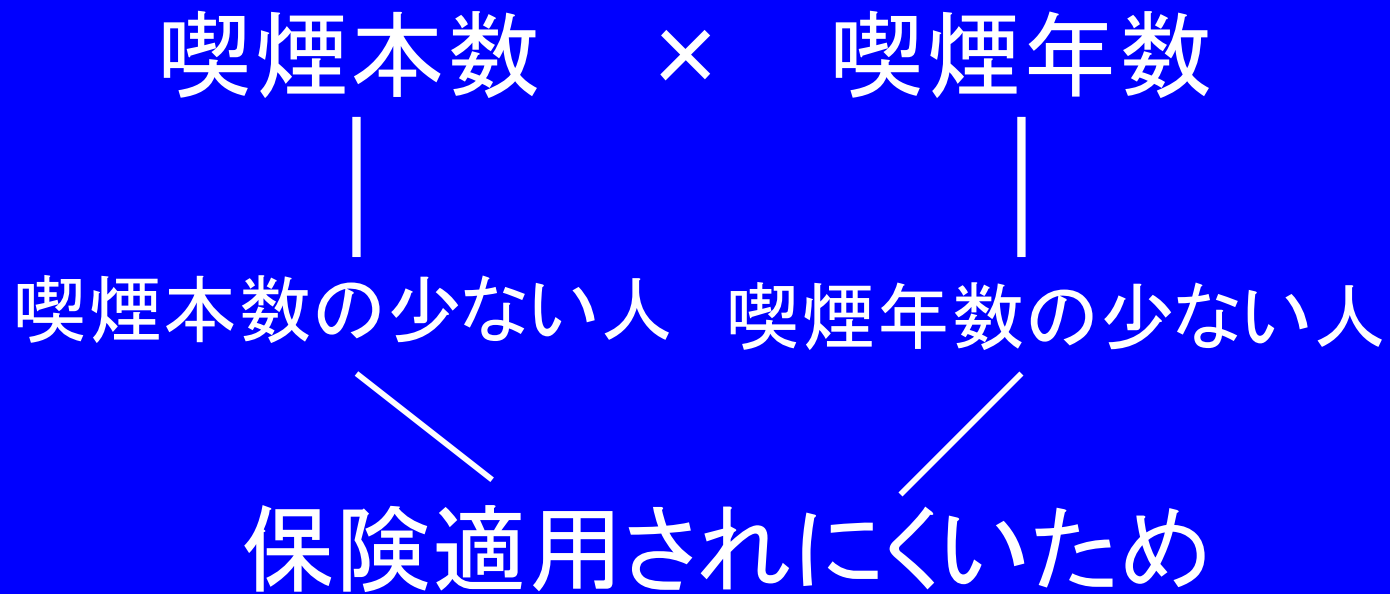
未成年者のほとんどは、喫煙年数が少なく、そのため、保険に適用されず10割負担で禁煙治療を受診してもらわないといけないため、保険適用されたことによって、以前よりも、受診勧奨しづらくなった。



未成年者に関しては、禁煙治療のハードルを高めた

「喫煙本数／日 15本以下の人の割合」が減ったこと
「喫煙年数」が長くなったことについて

保険適用の条件の1つ
ブリンクマン指数 ≥ 200 の関与



「来所回数」「ニコチンパッチ処方枚数」が増えたことについて

保険適用の条件の1つ

「12週間にわたり計5回の禁煙治療を行った場合に算定する」



- ・保険適用には、5回の受診が義務づけられているため
- ・この条件を予約時、初診時に確認したため



「来所回数」が増えた



受診の度、ニコチンパッチを処方したため



「ニコチンパッチの処方枚数」が増えた

禁煙動機「たばこ代がかかる」が増えていたことについて

平成18年7月のたばこ代の値上げの影響

「禁煙歴」のある人が増えていたことについて



禁煙歴のある人

何度か禁煙にチャレンジしたけど、
やめられない

経験により

3割負担で禁煙治療の負担の軽減

全国と比較して

「全国より若い人の受診」が多い傾向だったことについて
当協会にて職域健診を受診された方の受診の影響

「5回の終了まで受診されている人」が多かったことについて
予約、初診時にスケジュールを確認したため

「5回終了時に禁煙できている人の割合」が高かったことについて

初診時の動機づけ等カウンセリング

たばこの影響や、ニコチンパッチの正しい使用方法が
理解できるように指導した

指導方法の影響

おわりに

今回

全国より禁煙の成功率が高かった



今後

指導方法によるものか
全国の指導方法を比較し検討したい
禁煙継続について長期的な調査を
実施していきたい